

編集後記

皆様の御協力により、予定通り高知大学看護学会誌第14巻第1号を発行することができました。本号は、報告4編および第14回高知大学看護学会の報告からなっています。今回も多数の投稿をいただき、編集委員会としましても大変ありがたく思っています。

2020年は、年明けから新型コロナウイルス感染症拡大による大きな影響を受けております。高知大学は、卒業式や謝恩会が中止となり、新学期が始まっても学生の登校は制限され、授業はオンライン授業となりました。例年の賑やかな春とは異なり、穏やかな陽気の中で静まりかえったキャンパスが、ただ事ではないという感覚を強くさせました。私は、「当たり前」のように講義室で授業を行い実習ができていた前年を、懐かしむと同時にとても昔のことに感じていました。

今回、投稿して下さった著者の方々も新型コロナウイルス感染症の影響があったことと存じます。日常生活への様々な制約や業務上の負担などがある中で、論文を投稿しようと思い、それを実行された行動力に敬意を表します。一方、論文の投稿には、卒業論文や修士論文にはなかった査読があり、著者の方々はこの査読への対応にご苦労されたのではないかと思います。査読をクリアするには、「読み手に内容が伝わる文章と図表」が必要です。これから投稿をしようと考えられている方は、ぜひ、投稿する原稿を印刷し、貴方の論文を初めて読む人になったつもりで熟読してから投稿しましょう。

最後になりましたが、今回の論文査読にご尽力くださいました方々に心より感謝申し上げます。

高知大学看護学会誌編集委員会

委員長：杉本 加代

委員：小笠原本綿